



2006.12.8 岩屋保育所 もちつき大会

NO.11 CONTENTS

[特集] 新年のごあいさつ 02

まちの話題	06	Cultural Reflections	11
がんばってます！消防団	08	時の贈り物	11
健やか広場	09	民生児童委員だより	12
図書館へ行こう！	10	行政 News & Informations	13



まちの礎を築く一年に

与謝野町長 太田貴美

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

輝かしく希望に満ちた平成十九年の新春を清々しくお迎えのことと心からお慶び申し上げます。本年が皆様にとって健康で明るく希望に満ちた年でありますようお祈り申し上げますとともに、日頃からの町政全般に対する温かいご理解とご支援に心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、いじめ問題に代表される教育問題や、公務員の飲酒運転による悲惨な事故、工事発注をめぐる不祥事をはじめ、地方行政に対する信頼を大きく揺るがす事件が新聞・テレビ等で連日報道されました。またその一方で、WBCで日本が優勝、トリノオリンピックでフィギュアスケートの荒川静香選手が金メダルを獲得

するなど、スポーツ界で日本勢の活躍が目立つ一年でした。

当町では、三月一日の三町合併により新町「与謝野町」として新たな船出の年となりました。

そんな新町誕生の記念すべき年に花を添える出来事もありました。与謝野町消防団が、八月六日に開催された京都府消防操法大会で見事優勝し、全国大会においても、京都府代表として素晴らしい操法を披露してくれました。また九月の合併記念式典では、衆議院議員与謝野馨様から、与謝野家に伝わる貴重な与謝野晶子さん直筆の短冊を寄贈していただきました。町の花、「町の木もそれぞれ「ひまわり」「ツバキ」に決定し、式典で披露するともに、

昨年もひまわり十五万本が野田川わくわくばる周辺を埋め尽くし、多くの

来場者に好評をいただいたのも記憶に新しいところです。

与謝野町誕生から十か月余りが過ぎましたが、平成の大合併により府内の他の地域でも市町村合併が加速し、行政経費の節減が一層進み、組織のスリム化が図られるとともに、三位一体の改革、地方分権の推進によって、各自治体は住民ニーズに即したサービスを迅速かつ的確に提供することはもちろん、特色のあるまちづくりを競っていくこととなります。

しかし、国と地方を通じて財政状況は依然厳しく、自主財源の乏しい市町村にとつては、合併したとはいえ、決して楽観できるものではありません。平成十九年度も厳しい町政運営が想定されますが、事業にメリハリをつけ、教育、福祉、産業活性化、安心・安全なまちづくり等の重点施策を限られた財源で有効に実施できるよう、皆様とともに知恵を出し合い、協働により新町のまちづくりに取り組んでまいります。

そして本年を「持続可能な発展」を推し進めるための礎を築く年として位置付け、各地域の特色を生かし、与謝野町の新たな魅力を創出できるよう、町民の皆様とともに総合計画等の計画づくりや組織づくりをし、「水・緑・

空 笑顔かがやく ふれあいのまち」

の実現のため、精一杯努めてまいりますので、より一層のご支援とご協力を

お願いいたします。

結びに、今年一年が皆様にとりまして実り多い、幸多い年でありますよう



安心・安全のまちづくりを

与謝野町議会議長 糸井満雄

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい平成十九年の新春をご家族おそろいでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

「与謝野町」も初めての新年を迎え、記念すべき新春となりました。さて、昨年を振り返ってみますと、大きな課題でありました加悦町・岩滝町・野田川町の合併協議が、町民の皆様のご理解とご協力のもとに整い、「与謝野町」が三月一日誕生しました。私たち議員も、合併後に実施されま

した町長とのダブル選挙によって十八人の新議員が当選し、改めてその責任の重さを痛感いたしておるところでございます。

合併しましてから、はや十か月が経過し、一周年を迎えようとしておりますが、町を取り巻く情勢は、行財政改革、地方分権、少子高齢化など大変厳しい状況となっております。

合併によります行財政の運営の効率化が強く求められており、そのためにも旧町の垣根を取り払い、行政・議会そして与謝野町民の心がひとつになれ

る安心・安全のまちづくりを進めなければなりません。

本年は与謝野町としての今後のまちづくりの指針となります。「総合計画」を策定することとなります。当町が今後歩むべき方向性を示すこととなりますので、議会としても真摯に取り組んでまいりたいと考えております。

また、三月定例会には、平成十九年度の新年度予算も提案されます。様々な事業が住民の皆様身近なものとなりますよう、議会において慎重審議をさせていただきます。

議会は町民の皆様のご意見を町政に生かす大切な場でもあります。地方分権時代にふさわしい開かれた議会として、町民の皆様への期待に応えられるよう、これからも町民の皆様とともに精一杯まちづくりに励んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

今年一年が町民の皆様にとりまして、幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

特集◎新年のごあいさつ



明日へ希望のもてる「京都」のために

京都府知事 山田啓二

府民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年の春、多くの府民の皆様からご信託をいただき、再び府政の舵取りを担わせていただくこととなりました。本年も皆様からいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、よろしくお願いたします。

振り返りますと、昨年は、経済・雇用情勢に徐々に明るさが増してきた一年でしたが、その一方で、府内でも児童虐待により幼い命が失われるという事件が起きるなど、全国で子どもたちをめぐる痛ましい事件が続発した年でもありました。

京都府としては、事件の経過を徹底的に検証し、その反省の上に立って、二度とこのようなことがないように、全力を尽くす決意を新たにしております。

府政の基本は、何よりも府民の皆様

の安心・安全の確保であり、その上に立って、誰もが明日に希望をもって暮らせる京都づくりをしていかなければなりません。そうした観点から昨年は、地域の安心・安全のために、府内の全小学校区で子ども・地域安全見守り隊の結成をお願いし、また、現場警察官や交番相談員を大幅に増員いたしました。

さらに、都道府県では初めて、障害者自立支援のため独自の負担緩和策を講じるとともに、医師不足の進む府北部の病院に産婦人科医を派遣するなど、取り組みを進めてまいりました。

こうした安心・安全のための施策に、多くの府民の皆様からご支援とご協力をいただき、改めて心より感謝を申し上げます。

今、私たちの社会は安心・安全の問題をはじめ、教育や家庭の問題、中小

員一同、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を

心よりお願い申し上げます。
結びに当たり、この一年の府民の皆



火災ゼロを目指して

与謝野町消防団長 小池潤一郎

あけましておめでとうございます。新年をご家族おそろいでお健やかに迎えにいられたこと心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃より消防団活動につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年三月一日に、加悦町・岩滝町・野田川町の合併により与謝野町が誕生して早や十か月が経過しました。与謝野町誕生と同時に発足した消防団も、合併当初より、「火災ゼロの町・与謝野町」を目指し、消防団活動を実施してまいりましたが、残念ながら、三月以降十一件の火災が発生しました。

しかし、昨年九月以降は皆様方の協力により火災を無くすことができました。消防団では引き続き「火事を出さない、出させない」をスローガンに徹底した予防消防に努めてまいります。

昨年は、与謝野町消防団にとって三町消防団の合併のみでなく、記念すべき年となりました。消防の技能と技術規律・士気を披露する第十九回京都府消防操法大会において、合併初年度に優勝という栄誉に輝き、兵庫県三木市で開催された第二十回全国消防操法大会に京都府代表として出場を果たすことができました。この経験は消防団にとって、貴重な財産であり、今後の消防団活動に大きく寄与するものと確信

企業や農林水産業の振興、環境の保全や文化の振興、地域間格差の問題など、解決しなければならぬ多くの課題を抱えています。とりわけ核家族化や少子高齢化の進行などを背景に、人々との関係が希薄化し、人々が孤立化する中で、社会を支えてきた地域の力が衰えつつあり、貧富や地域間の格差の拡大がこうした傾向に拍車をかけ、温かく地域の人を見守る社会が失われつつあることが、何より心配されます。

それだけに、京都府としては、地域における信頼と絆の力を再生し、出来る限り人と人とのネットワークを強化し、京都のもつ産学公の力を結集することにより、誰もが明日に希望もてる社会づくりに、これからも全力を挙げて取り組んでいきたいと思えます。

まさに今年を京都府の「地域力再生のための新たなスタートの年」と位置付け、市町村との連携のもと、積極的な施策の展開に努め、文化や環境など京都が古くから育んできた伝統を生かし、東京にはない京都の価値を広く内外に発信していきたいと思えます。

私たちは、北から南までこの豊かで実り多いふるさとに誇りを持ち、人と人との信頼と絆を強め、弱い立場にある人たちをしつかりと支えながら、「安心・安全、希望の京都」を府民の皆様と一緒につくり上げるため、本年も職

様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

しております。その節には、町民の皆様には多くの激励と温かいご支援・ご協力をいただきましたことに、この場をお借りしまして心より御礼を申し上げます。

我々消防団は、日夜、消防防災の要として活動しているところですが、消防団を取り巻く社会的環境は近年大きく変化し、会社員等の団員が増え、昼間の火災等に出動する団員や新入団員の確保など大変厳しい状況にあります。しかしながら、近年の災害発生時において、多数の消防団員がめざましい活躍をし、その重要性が改めて認識されています。

本年も町民の皆様のご健勝と、守り「自分たちの町は自分たちで守る」という消防精神のもと、団員一丸となつてさらなる努力と精進をしてまいり所存であります。町民の皆様のお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝と、本年が災害のない平穏な年でありますよう心から祈念し、新年のご挨拶いたします。

特集◎新年のごあいさつ



■ のれんを染め上げる

10月から11月にかけて、与謝野町染色センターで「のれんの染色講習会」が開催されました。

今回の講習は初歩的な友禅染で、生地に糸目ゴム（色を入れたときに隣の図柄に色が入り込まないように防ぐ糊）で描かれた図柄の中に、自分で調合した色を筆で彩色していきます。その感覚はまさに「おとなの塗り絵」で、受講生の皆さんは、真剣な表情で筆を走らせていました。



↑真剣な表情で筆を走らせる受講者

「ぼかし」の技法も積極的に挑戦されるなど、受講生17人17様の色鮮やかな「シルクのれん」が完成しました。

「ぼかし」の技法も積極的に挑戦されるなど、受講生17人17様の色鮮やかな「シルクのれん」が完成しました。

■ 愛が伝わる魔法のコミュニケーション

「親業」シニアインストラクターの瀬川文子先生を講師に迎え「人権問題を考える集い」が12月12日、知遊館で開催され「心のつながりをもとめて」をテーマに講演されました。



↑講師の瀬川文子先生

「親業」とはアメリカの臨床心理学者トマス・ゴートン博士が考案したコミュニケーションの取り方を訓練するプログラムのことで、先生はそのインストラクターとして活躍されています。

「子どもが悩んだり、困ったりしている時、親の手助けは口を出すより、子どもの心の声に耳を傾けることが大切」と子どもとの心の通ったコミュニケーションをとることの大切さをお話しになりました。

■ サンタさんへ届け

石川保育所の園児たちが12月14日、サンタクロースへの手紙を手に石川郵便局を訪れ、「北の国へ届けてください！」と元気いっ



↑手紙をポストに投函する石川保育所の園児たち

ぱいにポストに投函しました。サンタクロースへの質問や欲しいものを書いた手紙は1週間後、石川郵便局から園児たちの手元に届けられ、園児たちは目を輝かせながら、サンタクロースからの返事を読んでいました。



→出荷作業の様子。一箱ずつ丁寧にチェックされていきます

■ 与謝ころ柿の出荷始まる

与謝ころ柿の出荷が12月13日から始まり、JA京都加悦支店には「与謝ころ柿生産部会」がつくられた柿が運び込まれました。今年は昨年の約3分の1の出

来ということですが、「昨年に比べ小粒だが、味は上々」とのことです。主にお歳暮や正月用として道の駅や町内のスーパーなどで販売されます。



↑岩滝町商工会館のイルミネーション



↑四辻地区公民館のイルミネーション

■ 夜空に輝くイルミネーション

町内各地では、12月の初めから様々な趣向を凝らしたイルミネーションが点灯し、夜空を輝かせてくれました。商工会、団体、地区で取り組んだりとその輪は年々広がっています。

■ スポーツ障害を予防するために

町内の少年少女スポーツクラブ指導者や体育指導委員、総合型スポーツクラブ関係者などが参加して「与謝野町ジュニアスポーツ指導者研修会」が12月2日、知遊館で開催されました。

社会保険京都病院の原邦夫整形外科部長（スポーツドクター）を講師として迎え「成長期におけるスポーツ障害と予防」を演題に講演されました。

専門的で、多くの症例に基づいた講演を聞いた参加者からは「大変勉強になった」と感想が聞かれ、スポーツ障害についてはもちろん、自己の経験に基づいた指導方法について見直すきっかけとなり、指導者としての心構えについても研修を深めることができた様子でした。



→スポーツ障害から子どもたちを守るため、参加者は熱心に耳を傾けていました

■ 地域の悲願、香河川改修

台風や集中豪雨があると、石川地区でたびたび氾濫を繰り返してきた香河川の改修工事がこのほど終了し、その完成を祝う竣工式が12月10日、石川小学校体育館で開催されました。

香河川改修は野田川改修事業の一環として始まり、昭和58年度には石川公民館付近まで改修が済み、一旦終了となりました。しかし、その上流部で甚大な被害をもたらしており、区民の要望活動を受け、新たに平成3年度から中小河川改修事業として奥山川合流点までを事業区間とし、総事業費約24億円をかけ、京都府でも例の無い、バイパス河川改修工事に着手しました。

この改修で川幅が5倍程度に広がり、平成16年の台風23号においても、堤防を越流することなく流れるなど、改修による効果は絶大なものがありました。



↑完成した香河川バイパス河川



←西飯選手の丁寧な指導を受ける中学生

■ 一流選手を迎えて卓球教室

全日本選手権や世界選手権大会で活躍された西飯美幸選手を講師に迎え、スポーツ選手ふれあい指導事業「卓球教室」が11月26日、野田川体育館で開催されました。

まったく初めてラケットを握る児童が、西飯選手に指導してもらおうと、簡単なラリーができるほどまで上達しました。洗練された技量と丁寧な指導により、参加した大人も指導方法などを学びました。

また、西飯選手と同行した南りか選手との息の合った指導やラリーを見て、一流のすごさを目の当たりにして憧れを持ったり、卓越した技術や精神力を学び大盛況のうちに幕を閉じました。

認知症とは

講演会は、認知症とはどのような病気かという内容から始まり、近年、認知症は予防可能な病

12月4、6、7日の3日間、岩滝、加悦の各保健センターと野田川わくわくばるで特定非営利活動(NPO)法人認知症予防ネットの松下市子さんを講師にお迎えして、認知症予防講演会を開催しました。

「周囲の人はその状態を理解して、やさしさをシャワーのように柔らかくかけて癒してあげることが大切」で、認知症を予防するためには「明るく頭をつかい、あきらめない。そしてどきどきすることを体験することが必要」とのことです。具体的には、計算や手遊び、日記をつける、役割を果たす、

「周囲の人はその状態を理解して、やさしさをシャワーのように柔らかくかけて癒してあげることが大切」で、認知症を予防するためには「明るく頭をつかい、あきらめない。そしてどきどきすることを体験することが必要」とのことです。

予防するには

それでは予防するためにはどうすればいいのでしょうか。認知症の人は、昨日のことも明日のことも記憶することができず、とても不安な状態にいます。

気であることがわかってきています。「例えば認知症になっても、軽いうちに治療ができれば、支障なく生活できる」ともいわれている」とのこと、少しでも日常と違った様子がみられたら、専門医に相談する等の対処が重要です。

実際に体験して

講演会では、予防方法のひとつである歌やリズムを交えた手

遊びを体験しました。始める前に「例えば上手にできなくてもいい。その時、どきどきすることが大切で、それが認知症予防につながる」と先生からアドバイス。

このようにして講演会は、3日間で80人が参加され、どの会場もにぎやかなうちに終了しました。

継続することの大切さ

認知症は、継続して予防していくことが大切です。若年から予防することでかかりにくくなるとも言われている認知症。皆さんも自分でできる予防方法を見つけ、続けてみてはいかがでしょうか。



3人から市子松下手遊ばささん。手遊ばささんで体験は皆いっしょで笑顔楽しんでおられました。

Vol.9
にんちしょうよぼう

認知症予防

認知症予防の方法について講演会で学びました。



ラッパ隊、参上♪

与謝野町消防団にはラッパ隊があるのをご存知でしたか？伝統あるラッパ隊をご紹介します。



■ 生い立ち

当時、小牧國夫副団長の呼びかけで昭和50年6月に加悦町消防団で設立されました。初代の隊長は園田和男隊長で隊員は全員で5人でした(森垣さん、稲上さん、細井さん、江原さん)。この年は沖縄海洋博覧会や3億円事件の時効成立などがありました。

■ 現在のラッパ隊

小柴貴也隊長以下14人の精鋭です。式典がある2か月前から毎週1回練習しています。ラッパ隊は丹後の消防団の中で与謝野町、京丹後市(久美浜町、弥栄町)の3隊です。

ラッパ隊長から一言

与謝野町消防団になったので、他の方面隊からも隊員を募集し、人員を増やして益々精力的に活動の場を広げていきたいと思えます。今後とも応援よろしくお願いします。



→与謝野町消防団結団式(5/14)で演奏するラッパ隊。一番左が小柴隊長

Q & A ラッパ隊にいろんな疑問を聞いてみました!!

Q 活動の内容は？

A 出初式や町長査閲など式典での国旗掲揚時や、団旗、上官に敬礼する時に演奏するのが主な活動です。

Q 曲は何曲あるの？

A いろいろ曲はありますが、主に演奏するのは3曲です。

Q 難しいところはどんなことですか？

A ほとんどの隊員が管楽器は初めてなので、まず鳴らすことから始まります。鳴らすだけでも大変なうえに、ピストンがあるトランペットと違い、音程調整が口でしかできないので、曲を演奏するのは大変です。

平成18年度全国統一防火標語「消さないで あなたの心の 注意の火」

公共施設にAEDを設置しました



↑各施設では、AED設置場所を案内しています。もしもの時、命を救うのは「あなた」です！

心 室細動（心臓のけいれん）の状態を電気ショックによって、心臓を正常な状態に戻すことができるAED（自動体外式除細動器）。1分1秒を争う場面でAEDが身近にあればとの願いから、このほど下記の施設・学校に設置しました。

- 本庁舎・野田川庁舎・加悦庁舎
- 中央公民館・加悦地域公民館・知遊館
- 中学校（3校）
- 小学校（9校）
- 野田川診療所
- 大内峠一字観公園
- クアハウス岩滝
- 野田川ユースセンター
- 野田川わーくぱる
- 加悦双峰公園
- リフレかやの里

AEDとは

突然死の原因となる心

臓疾患の大部分が心室細動によって起こります。この状態を取り除く必要があるかどうかを瞬時に判断して、必要と判断すればこの状態を電気ショックによって取り除き、心臓を正常な状態に戻すための唯一の方法がこの器械の役割です。



11月の入札結果

11月の入札結果について、工事名、落札業者名、落札金額など8項目をお知らせします。入札については総務課（☎46-3003）へお問い合わせください。

入札日	工事番号	工事名	施行場所	業者数	落札業者名	落札金額 (千円/税抜)	工期
11/2	18与特下第23号	下水道関連舗装本復旧⑤工事	明石・加悦奥	5者	金下建設㈱	6,450	H18.11/13~12/27
11/2	18与特下第20号	石川地区面整備③工事	石川	14者	榊杉建	9,600	H18.11/11~H19.3/26
11/2	18与道橋新工第16号	温江明石線改良工事	温江	14者	石本建設㈱	4,800	H18.11/15~12/25
11/2	18与水管第2号	三河内加悦緊急連絡管布設工事	三河内	8者	南石田建設	1,350	H18.11/8~H19.1/31
11/2	18与福工第3号	岩滝ふれあいセンター玄関ホールドア改修工事	岩滝	8者	南植田建築	1,800	H18.11/14~H19.1/31
11/15	18与特下第29号	加悦地区面整備①工事	加悦	8者	砂後建設㈱	23,000	H18.11/21~H19.3/26
11/15	18与特下第25号	明石地区面整備②工事	明石	14者	石本建設㈱	17,450	H18.11/22~H19.3/26
11/15	18与特下第26号	明石地区面整備③工事	明石	14者	村井建設㈱	11,600	H18.11/23~H19.3/26
11/15	18与特下第27号	明石地区面整備⑤工事	明石	14者	南野口建設	18,300	H18.11/18~H19.3/26
11/15	18与特下第28号	明石地区面整備⑥工事	明石	14者	榊丸正組	15,450	H18.11/17~H19.3/26
11/15	18与林第6号	災害に強い森づくり事業浸透工事	香河・温江・与謝	14者	石本建設㈱	10,500	H18.11/28~H19.3/30
11/15	18与特下第24号	石川地区面整備⑥工事	石川	8者	丹後北都不動産野田川営業所	5,200	H18.11/28~H19.2/28
11/15	18与林災第6号	林道大風呂線災害復旧工事	岩滝	8者	丹後北都不動産野田川営業所	1,690	H18.11/28~H19.3/31
11/15	18与道橋新工第20号	温江明石線側溝整備工事	明石	8者	江笠建材㈱	1,000	H18.11/21~H19.1/31
11/15	18与福工第4号	岩滝ふれあいセンター空調設備改修工事	岩滝	5者	藤村電業㈱	2,850	H18.11/21~12/25
11/15	18与農第6号	与謝野町冷凍米飯加工施設増設工事	香河	7者	山口建設㈱	39,800	H18.11/27~H19.3/28
11/15	18与水改第8号	市場簡易水道中央監視設備工事	四辻	8者	桐田機工㈱	21,000	H18.11/28~H19.3/20
11/30	18与水改第9号	下水道関連配水管布設替(石川地区③)工事	石川	9者	南石田建設	1,980	H18.12/12~H19.3/26
11/30	18与道橋新工第22号	河原線側溝整備工事	岩屋	8者	南柳水道	960	H18.12/8~H19.2/28

民生児童委員だより

平成16年12月、厚生労働省から委嘱を受け活動してまいりましたが、任期も残り1年となりました。あらためて各地域の委員を紹介します。お気軽に声をかけてください。

岩滝地域	野田川地域	加悦地域
石田 宮川 峯子 白数 守 弓木 川邊 真一 廣野 典子 立町 安藤 哲郎 大槻しげり 浜町 光野 宏和 村井三知代 藪後 難波 壽和 羽瀨 啓子 東町 渋谷 求 小川 美花 男山 尾上芳太郎 小川 正史 前野 悦子 主任児童委員《全地域担当》 田上 博巳（東町） 宮崎 晴子（浜町）	三河内 牛田 宏（上地） 廣居 節雄（大道） 居相 哲昭（奥地） 千賀美栄子（中坪） 箴部 雅司（下地） 香山 佳子（梅谷） 岩屋 楠 康之（上地） 山本 宏三（奥地） 木村 恵（下地） 浪江 和子（西林地） 市場 谷口 勝雄（一区） 芝井 一行（二区1） 平 昭江（二区2） 吉岡 宗輝（三区） 橋詰 協一（四区） 松尾 豊子（五区） 山田 長島伊久雄（尾崎） 長島 操（館） 茂籠 迪子（上地1） 白数 道夫（上地2） 山崎 勝治（下地） 石川 坂根美佐子（亀山） 藤原 充静（大宮・川上） 河邊 時寛（上地） 津田 博康（中地） 多田 孟男（下地・堂谷） 主任児童委員《全地域担当》 宮垣 光真（上山田） 畠中八代江（石川）	算所 山元 貞義 青木 君予 加悦奥 小牧 耕一 細井 幸代 加悦 西村 良樹 仲川ひと美 吉岡 恵子 後野 巻田 浩志 安田佳与子 与謝 伊達 義範 西原 文代 滝 西原 儀夫 西原 則子 金屋 杉本美壽津 森垣美恵子 温江 青木 利夫 木村 勝子 明石 吉田 弘 松本 節子 香河 福田 信子 主任児童委員《全地域担当》 細井 美明（算所） 中田あつ代（金屋）



民生委員・児童委員は身近な相談相手です

民生児童委員へ相談を希望される方は福祉課（☎43-1513）まで。連絡先等をお伝えします。

与謝野町役場 ☎46-3001(代表)
岩滝地域振興課 ☎46-3002 総務課 ☎46-3003 総務課(消防安全係) ☎46-3004 企画財政課 ☎46-3084 企画財政課(情報システム係) ☎46-3085 建設課 ☎46-3267 商工観光課 ☎46-3269 会計室 ☎46-3007
野田川庁舎 ☎44-2081(代表)
野田川地域振興課 ☎44-2082 住民環境課 ☎44-2083 税務課 ☎44-2084 水道課 ☎44-2085 下水道課 ☎44-2086
加悦庁舎 ☎43-1511(代表)
加悦地域振興課 ☎43-1512 福祉課 ☎43-1513 保健課 ☎43-1514 農林課 ☎43-2191 議会事務局 ☎43-0215 教育委員会 教育総務課 ☎43-2192 教育委員会 教育推進課 ☎43-2193

公職選挙法が改正されました

公 職選挙法の改正により、選挙人名簿抄本の閲覧制度が見直され、平成18年11月1日から、次の場合に限り閲覧できるようになりました。

- ① 特定の者が選挙人名簿に登録された者であるかどうか確認するために閲覧する場合
- ② 公職の候補者等、政党その他の政治団体が政治活動・選挙運動を行うために閲覧する場合
- ③ 統計調査、世論調査、学術研究その他の調査研究で公益性が高いと認められるもののうち政治・選挙に関するものを実施するために閲覧する場合

【閲覧の申出をする場合の申請書類】

①登録の有無の確認	②政治活動・選挙運動		③調査研究
	公職の候補者等	政党その他の政治団体	
<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧申出書 	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧申出書 ・公職の候補者となることを示す資料(現職であれば省略可) 	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧申出書 ・政治団体設立届出書の写し ・活動実績を示す資料(現職が所属する政治団体は省略可) 	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧申出書 ・調査研究の概要・実施体制を示す資料

※実際に閲覧をするにあたっては、本人確認のため、顔写真付きの身分証明書(免許証・パスポート等)を提示していただく必要があります。

【問い合わせ先】与謝野町選挙管理委員会(総務課内) ☎46-3003

「ハート・プラスマーク」をご存知ですか？

心臓疾患などの「内部障害・内部疾患」は外観からはわからないため、自宅・学校・職場などで「体が辛い、しんどい」と言えずに我慢している方がいます。そのような方の存在を視覚的に示し、理解の第一歩とするため、このマークは生まれました。マークは個人で身につけたり、車にはるなどして使用されています。

マークの使用等についての詳細は、「内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考えるハート・プラスの会」のホームページ(<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>)をご覧ください。



男女共同参画推進委員会が発足

与 謝野町男女共同参画計画」を策定する推進委員会がこのほど発足し、委員長に小牧恵子さん(三河内)、副委員長に三井健史さん(加悦奥)を選出しました。

この計画は、与謝野町の現状に即し住民一人ひとりの意識改革と新たな価値観の共有により、家庭や職場、地域社会における男女の対等な人間関係を構築するための指針として2か年で策定します。

平成18年度は住民アンケート調査を実施し、住民の暮らしにおける男女共同参画の現状を把握するとともに、平成19年度の具体的な計画策定の基礎資料とします。

委員会の様子は今後、町ホームページで公開し、基本構想(案)についてはパブリックコメントを募集する予定です。



細井 貴子(加悦奥)	藤岡 利栄(四辻)	笹岡 泰雲(四辻)	津田 博康(石川)	下村 直哉(金屋)	下野 佳美(岩滝)	荻野 満枝(岩滝)	糸井 範子(岩滝)	○三井 健史(加悦奥)	◎小牧 恵子(三河内)
------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------------	-------------

※◎は委員長、○は副委員長、敬称略

男女共同参画推進委員

公共交通のあり方検討委員会が発足

地 域における公共交通のあり方を住民、事業者、行政が一体となって検討する「与謝野町公共交通のあり方検討委員会」が12月16日、中央公民館で開催され、委員長に北風雅雄さん(加悦奥)、副委員長に藤理隆夫さん(弓木)を選出しました。

検討委員会発足の背景には、近年の道路交通網の整備に加え、過疎化・少子化の進展に伴う利用者数の減少で、地域における公共交通の経営が大変厳しい状況となっていること、新町発足にともない町全体を一つの地域としてとらえ効率的な公共交通ネットワークの構築が求められていることなどがあります。

今後は、平成19年3月までに計4回の会議を開催し検討を進めます。また、住民のバスを中心とした公共交通に関する需要を把握するためのアンケート調査を実施し、その結果を公共交通のあり方に反映させることとしています。

検討委員会での検討内容については、町ホームページで公開しますので、ぜひご覧ください。



↑検討委員会の様子

企画財政課長	商工観光課長	福祉課長	教育次長	加悦エローライン株式会社	丹後海陸交通株式会社	西川 明宏(岩滝)	長島 榮志(上山田)	和田美智枝(幾地)	小西 彬則(滝)	石田 栄男(金屋)	小西 順子(下山田)	由良 繁男(石川)	新田 榮一(幾地)	○藤理 隆夫(弓木)	◎北風 雅雄(加悦奥)
--------	--------	------	------	--------------	------------	-----------	------------	-----------	----------	-----------	------------	-----------	-----------	------------	-------------

※◎は委員長、○は副委員長、敬称略

検討委員会委員

この欄で紹介する出生とお悔やみは11月16日から12月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配付している
広報誌には掲載しています



町内に配付している
広報誌には掲載しています



・まちのうごき・
平成18年12月1日現在

人口	25,685人 (-0)
男	12,170人 (-3)
女	13,515人 (+3)
世帯数	8,953戸 (+7)

※括弧内は前月比



三河内幼稚園
作品展
「風船に乗って」
Photo Topics



①「どんぐりハウス」の前で記念撮影 ②三河内幼稚園から風船が飛んでいく様子を表現しています ③「風船が運んだ小さな展覧会」出展作も展示。年長組園児の共同制作です ④陶芸教室で制作した湯のみ茶碗。「卒園お茶会」で使用されます ⑤老人会の皆さんの作品も展示されました

三河内幼稚園では、造形活動を通して豊かな表現力を育てることを目的に毎年「作品展」を開催しており、今年も、12月16日から18日まで「風船に乗って」をテーマに作品を展示しました。

『広報よさの9月号』でもお伝えした、ひとつの小さな風船が結びつけた三河内幼稚園と長野県戸隠に住む園分先生との心温まる交流や、風船が旅していく様子を中心に表現しています。

ホールを中心に展示された大きな家は、「どんぐりハウス」と呼ばれる園分先生の山小屋。地域の方の力も借りながら、子どもたちが一生懸命につくった大作です。

他にも、園児たちが描いた絵画や陶芸教室でつくった湯呑み、保護者、老人会の皆さんの作品も展示されました。